

I

■出題のねらい

日常的な会話の内容を正確に理解する問題です。2 者のやりとりの流れを見失わないようにしながら、細かい情報を読み取ります。

■採点講評

日常的な会話には、様々な話題が入れ替わり出てきます。この問題では Daigo が勤務先を変更することになった経緯をしっかりと理解できるかどうかのポイントでした。[3]、[4] の正答率がよくありませんでしたので、苦戦した人も少なくなかったようです。特に英問英答の問題では、同じ内容も違った表現で言い換えられますから注意が必要です。

II

■出題のねらい

ツアー案内を題材にした問題です。広告のスタイルに注意しながら、提示されている情報の中から、必要な情報を正確に読み取ります。

■採点講評

ツアーの案内チラシが題材になっていますが、英文そのものは一般的なスタイルで文型もシンプルです。そのため、内容理解がしっかりできているかどうか重要なポイントとなりました。(3) の正答率が低かったのですが、この問題は選択肢も日本語ですし、一見解きやすい問題と思われがちです。しかし、どの選択肢もいかにもありそうな内容ですので、本文を丹念に読みこまなければ正答には辿りつけません。

III

■出題のねらい

与えられた英文情報から、必要な情報を正確に読み取れるかどうかを問う問題です。見学ツアーの案内等によくみられる日にちや年齢、人数に関連する表現や文法、図版が正確に読み取れ理解できるかどうかのポイントです。

■採点講評

全体的に正答率はよかったです。14の正答率がよくありませんでした。選択肢はどれもありそうな内容ばかりですから、本文をしっかりと読んで、深く理解できているかどうかのポイントとなりました。正答は③でしたが、④を選んだ人が多かったです。

IV

■出題のねらい

宇宙観測の最先端基地として南米チリの高地に設置されたアルマ望遠鏡に関する英文を読み、多量に提供されている数値情報を正確に辿りながら、英語の基本的な語彙・語法の理解に基づいた内容把握の問題です。天文学に関する語彙が多く使われているため、一見したところやや難解にみえますが、設問の指示文で提供されている日本語からヒントを得ることで、各設問が解答しやすくなります。

■採点講評

テーマが難しかったせいも、他の問題と比べて正答率は低かったです。中でもアルマ望遠鏡を構成する66基のパラボラアンテナについての19の正答率が低かったです。「望遠鏡」という語に惑わされないためには、本文の該当箇所を丹念に読むことが必要です。また、「equivalent」と置き換えることのできる語を選ぶ20の正答率もよくありませんでした。このタイプの問題は文脈から得られるヒントを活用することがポイントとなりますが、単語を覚えるときに同意語も一緒に覚えるようにすると効果的です。

V

■出題のねらい

設問が2つありますが、(1)は基本的な構文力と文法力を問ひ、(2)は英文全体の内容が把握できているかどうかを問う問題です。

■採点講評

27は不定詞の形容詞的用法、28は同等比較の基本的な構文の問題でしたが、この2つの正答率がよくありませんでした。単語は決して難しいものではありませんから、基本的な構文をもう一度確認しておきましょう。